

市長任期 2 年目 政策公約評価書 (案)

令和 5 年 10 月 2 日

八戸市総合計画等推進市民委員会

< 目 次 >

I 評価書の作成に当たって	1
1. はじめに	1
2. 政策公約の概要	2
3. 評価の方法	8
II 市長任期2年目の政策公約取組状況に関する評価	9
1. 総括評価	9
2. 44の重点施策の個別評価及び意見	12
III 参 考	30
1. 八戸市総合計画等推進市民委員会 委員名簿	30
2. 審議経過	31

I 評価書の作成に当たって

1. はじめに

熊谷雄一市長は、人口減少と少子高齢化の進行、デジタル化の進展、環境問題への対応等、地方が大きな変化の時代を迎え、更には、コロナ禍という極めて難しい局面での市政の舵取りが求められる中、八戸の未来を切り開くため、「さらなる元気な八戸に！」のメッセージのもと、4年間の任期で重点的に取り組む9項目にわたる政策と44の重点施策で構成する政策公約を掲げ、令和3年10月の市長選挙において初当選し、翌11月に市長に就任した。

その公約の実現にあたっては、市民との対話を重視し、市政に対する理解と共感を得ながら、市民と共にまちづくりを進めていくとの特徴的な方針を示している。

さて、本委員会では、毎年度市長の政策公約の取組状況の実績や成果を調査・審議し、総合的かつ定性的な評価を行い、市民に公約の達成状況を分かりやすく提示するとともに、政策公約が着実に推進されるよう、市における次年度予算の編成前に、評価書として市長に提出することとしている。

市長任期1年目においては、コロナ禍の中にあって、市長就任から約8か月という短い期間にもかかわらず、公約対応事業として位置付けられた101の事業を通じ、44の重点施策の全てに着手しており、公約の達成に向け着実に進められていると評価した。

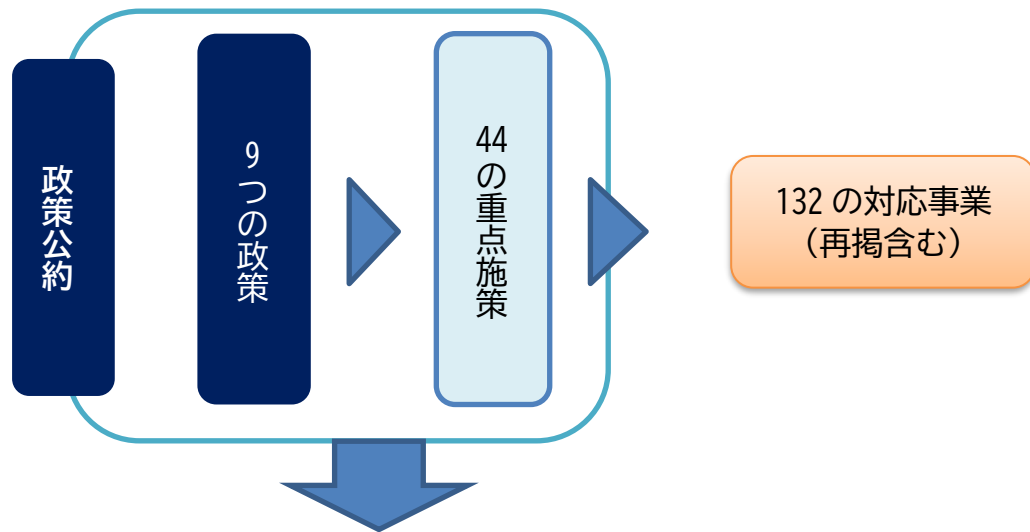
市では2年目においても、政策公約の実現に向け、引き続き44の重点施策に取り組まれているが、市長任期2年目の評価となる今回は、1年目に決定した評価方法に基づき、1年目よりも取組を増加させた公約対応事業全132事業の実績や成果を基に、その取組状況を調査・審議し、総合的かつ定性的な評価を行ったところである。今回の評価を通して、市政全般の広範にわたる分野において、多種多様な事業を展開している市の取組を認識できたことは、大変意義深いものがあつた。

本評価書を提出する令和5年10月は、市長任期である4年間の折返し地点であり、このタイミングで本委員会が取りまとめた政策公約評価書を示すことで、市民の皆様の市政への関心がより一層高まり、八戸市勢の更なる発展と市民福祉の更なる向上に繋がることを期待する。

2. 政策公約の概要

政策公約は、市長が4年間の任期（令和3年11月～令和7年11月）において、重点的に取り組む施策を取りまとめたもので、9つの政策のもと、44の重点施策で示されており、市は、重点施策に掲げた内容の実現に向け、任期2年目は132の対応事業に取り組んでいる。

（政策公約のイメージ図）



政策 1	迅速かつ適切な新型コロナ対策	(7 施策)
政策 2	八戸圏域の特性を活かした経済活性化	(7 施策)
政策 3	持続可能なより良い社会の実現	(3 施策)
政策 4	スポーツ&文化で地域と経済の活性化	(4 施策)
政策 5	安心・安全な市民の暮らしを守る	(5 施策)
政策 6	「子どもファースト事業」の展開	(4 施策)
政策 7	多様な市民力を地域の活力に	(6 施策)
政策 8	暮らしやすく人に優しいまちづくり	(4 施策)
政策 9	経営感覚を持った行財政運営	(4 施策)

1 ◇政策及び重点施策の内容

2 **政策1 迅速かつ適切な新型コロナ対策(7 施策)**

3 感染症拡大を防止すると共に、日常生活と経済活動を取り戻します。

- 4 1 医療提供体制の充実・強化に向けて、入院病床や宿泊療養施設の確保に努めると
5 共に、クラスター発生時の保健所機能・PCR 検査体制の強化、迅速なワクチン接
6 種、わかりやすい情報提供に努めるなど、新型コロナ感染症対策に全力を尽くし
7 ます。
- 8 2 自宅療養者・宿泊療養者への健康観察等の適切な対応を図るとともに、潜在的保
9 健師・看護師を登録する人材バンクの活用等により保健所の体制整備に努めます。
- 10 3 必要に応じて、高齢者施設、繁華街の飲食店の一斉検査(スクリーニング検査)を
11 行うほか、医療機関、高齢者施設、保育園等への抗原簡易キットを活用するなど、
12 検査体制の強化を図ります。
- 13 4 新型コロナ禍の影響が大きい観光関連事業者等に対して、事業存続に向けた適切
14 な支援を行うほか、観光・飲食等の需要回復支援に取り組みます。
- 15 5 新型コロナ禍の長期化により懸念される、高齢者フレイル(心身の虚弱)などの
16 健康二次被害の予防と対策に取り組みます。
- 17 6 感染症との共存(ウイズコロナ)時代において、市民が安心して日常生活や経済・
18 文化・スポーツ・教育等の活動を行えるよう、市独自のガイドラインを制定し、
19 フォロー体制を構築します。
- 7 新型コロナへの対応について様々な角度から検証し、新たな「感染危機管理マニ
ュアル」を策定します。

政策 2 八戸圏域の特性を活かした経済活性化(7 施策)

八戸圏域の農業・畜産・水産の連携を図るほか、産業都市八戸の経済効果を圏域に波及させていきます。

- 1 ウィズコロナ・アフターコロナ時代に向けた「八戸市経済再生ビジョン」を策定し、地域経済の再生・回復を図ります。
- 2 水産業の未来を考える「(仮称)八戸水産アカデミー」を設置します。また、養殖事業等の「つくり育てる漁業」の推進に向けた研究会を立ち上げ、多様な水産資源の確保に努めます。
- 3 「食のまち・八戸」をテーマとした観光振興により、八戸圏域の農業・畜産・水産資源を有効活用することで、交流人口や関係人口の増加による圏域全体の経済の活性化を図ります。
- 4 デジタル関連産業や医療・介護・健康等の「ヘルスケア産業」など、成長産業の集積に向けた企業誘致や事業育成に取り組みます。
- 5 経済のグローバル化に向けた北東北の物流拠点としての基盤の整備等、産業インフラをさらに充実させ企業誘致に努めます。
- 6 地域の雇用と経済を支える中小企業・小規模企業の振興条例を制定し、効果的な運用により地域経済の活性化を図ります。
- 7 次代の経済活性化に向けて起業家を支援するプラットフォームを構築し、起業家同士の交流や起業を志す若者や女性に対する起業支援体制を拡充することで、「創業拠点都市・八戸」を目指します。

政策 3 持続可能なより良い社会の実現(3施策)

SDGs への理解、環境問題やデジタル社会への対応を図り、持続的な発展を目指します。

- 1 SDGs（持続可能な開発目標）に対する市民の理解と取り組みを推進するために、教育機関・企業・関係団体等への情報発信や啓発活動を行います。
- 2 再生可能エネルギーの導入など、脱炭素化への取り組みを通じて、経済・社会・環境のバランスの取れた、グリーン・循環型社会の実現を目指します。
- 3 行政・市民生活のデジタル化を加速させ、効率的かつ安全・安心な行政サービスを提供するために、民間人材の登用も視野にデジタル推進室を設置します。

政策 4 スポーツ&文化で地域と経済の活性化(4施策)

スポーツ・文化に関連する施設を連携し有効活用しながら活性化に繋がります。

- 1 スポーツを通じた人材の育成、健康寿命の延伸、スポーツ産業の振興による地域の活性化に向けて、「(仮称) スポーツによる人・健康・まちづくり推進協議会」を立ち上げます。
- 2 八戸市体育館の建て替え構想に際し、従来のスポーツ競技や観戦のほか、避難所・各種コンベンションの開催など多目的利用が可能な施設を検討します。
- 3 「北東北のコンベンションシティ八戸」を掲げ、イベントや会議などの誘致を積極的に進めると共に、八戸市の魅力を発信し経済波及効果を創出します。
- 4 中心市街地において、商業機能や公共施設と文化事業(美術・文学・演劇・音楽)との連携によるエリアマネジメントに取り組み、市民のコミュニティ豊かな魅力ある街づくりを目指します。

政策 5 安心・安全な市民の暮らしを守る(5施策)

超高齢社会への対応、障がいのある方への日常生活支援、大規模災害への対応を図ります。

- 1 超高齢社会に向けて、医療・介護・予防等の生活支援を総合的に推進するために、デジタルシステムを活用した「地域共生社会」の実現を目指します。
- 2 介護人材を確保するため、資格取得支援、人材育成、町内会単位での支援体制の整備、市独自のヘルパー制度(軽度者に対するサービス提供) の創設などに取り組みます。
- 3 医療・介護の連携をより一層推進させ、住み慣れた地域で安心して在宅医療を受けることができる仕組みづくりを目指すと共に、終末期医療体制の整備に取り組みます。
- 4 障がい者の就業定着と就業機会の選択が広がるよう、事業者の理解促進に努めると共に就業支援の相談機能の充実を図ります。
- 5 多発する異常気象や、将来発生が予想される巨大地震とそれに伴う津波など、大規模災害から市民の生命と財産を守るため、防災・危機管理部門を強化します。

政策 6 「子どもファースト事業」の展開(4施策)

「子どもの未来は社会の未来」との考えのもと、子育て支援や教育の充実に努めます。

- 1 子ども医療費助成の対象拡充、子育て支援の充実、学校施設の老朽化対策など、
2 子どもや子育て世代にやさしい子どもファーストの事業に取り組みます。
- 3 2 幼児保育の重要性の認識や職場環境の改善を図り、人材の確保に努めると共に、
4 幼児教育の質の向上に向けた研修体制や小学校との円滑な接続を図るカリキュ
5 ラムを構築します。
- 6 3 学校のプログラミング教育や国際交流事業のさらなる充実を図り、未来の八戸を
7 担う子どもたちの学びを支えます。
- 8 4 食品関連事業者や関係団体などとの連携の下に、子ども食堂の支援に努めます。
9
10

政策 7 多様な市民力を地域の活力に(6施策)

若者・女性の活躍、シニア世代のスキル活用など、多様な人材が活躍できる八戸を目指します。

- 11 1 高校・大学卒業を機に転出した若者・女性に向けた「ふるさとメール便」・「ふる
12 さと情報アプリ」の導入やリモートワーカー等の積極的な受け入れにより、若者・
13 女性の移住促進に取り組みます。
- 14 2 産業界と教育界の連携を図り教員、生徒、保護者を対象とした地域における産業
15 教育の充実により、大学生や高校生の地元定着を図ります。
- 16 3 若者・女性にとって魅力ある街づくりをビジョンに掲げ「(仮称) まちの魅力創生
17 ネットワーク会議」を立ち上げます。
- 18 4 社会人を対象に、資格、技術、技能、専門知識の習得など、地域や企業に役立つ
19 人材を育てるための学びの場として「(仮称) キャリア教育講座」を設置します。
- 20 5 シニア世代の資格や技術・技能・専門知識などのキャリアを活かし、中小企業の
21 人材不足と経営再生を支援するため、人材(スキル) を登録し、マッチングを支援
22 する仕組みづくりに取り組みます。
- 23 6 地域の協力を得ながら、高齢者サロン・老人クラブ等の高齢者の生きがづくり
24 活動を支援すると共に、高齢者の社会参加の促進を図ります。

政策 8 暮らしやすく人に優しいまちづくり(4施策)

それぞれの地域の特色を活かすと共に、身近な歩道の整備などに配慮したまちづくりを目指します。

- 1 地域の活力を維持するために「コンパクト&ネットワーク」の街づくりを推進すると共に、地域らしさを創出するための協働のまちづくりを推進します。
- 2 市民にとって身近な公園や歩道の整備、公共施設等の保守・修繕・バリアフリー化を進め、人にやさしい街づくりを推進します。
- 3 空き家の適正管理を進めるほか、空き家のリフォームやリノベーションによる転用などの利活用を促進します。
- 4 市民と共に創る「市民目線のまちづくり」を目指して、「(仮称)市長との公民館サロン」を開設し、開かれた市政を実現します。

政策 9 経営感覚を持った行財政運営(4 施策)

民間企業との交流の推進や、市長と市職員との率直な意見交換を通じ、行政組織を活性化させます。

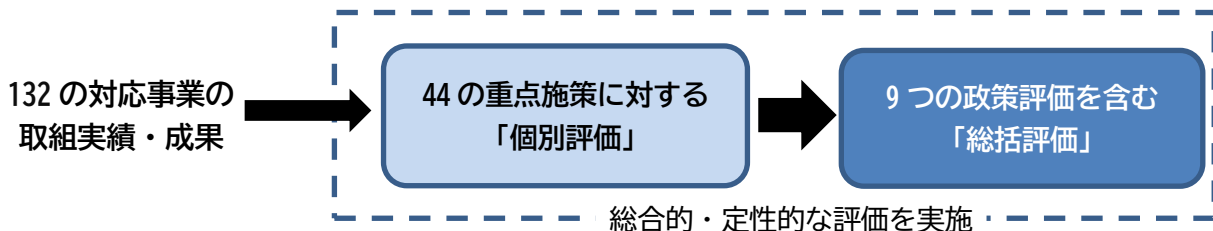
- 1 持続可能な財政運営に向け、大型公共施設の維持管理コストと財源の見通しを公開し、併せて施設の有効利用を図ることにより費用対効果を高めます。
- 2 市長と市職員との活発な意見交換を通じ、行政組織をより活性化させ行政改革と市民サービスの質の向上につなげます。
- 3 民間企業との交流をより推進し、経営感覚やスキルを取得することによって、八戸市のまちづくり経営の事業や施策に反映させます。
- 4 健康増進、子育て支援などの機能を備えた市民向けアプリを開発し、市民満足度の向上を図ります。
また、アプリに市民の意識や満足度を把握できる機能も備えることで市政の改善に活かします。

3. 評価の方法

政策公約の評価については、政策公約に対応する事業の進捗状況をもとに、社会情勢や市の現状等を加味し、総合的かつ定性的な評価とした。

評価の流れは、市が政策公約に対応する事業として位置付けている 132 の対応事業の取組実績や成果を基に、まずは 44 の重点施策ごとの「個別評価」を行い、その個別評価を基に 9 つの政策の評価を含めた公約全体の「総括評価」を行う手順とした。

評価の実施に際しては、政策公約（9 つの政策及び 44 の重点施策）の「達成度」による評価を基本としつつ、その内容により短期間で達成可能なものから市長の任期である 4 年間で要するものまで一律ではないことから、評価時点で「達成できていない」と評価したものについては、さらに「進捗度」による評価を加えた二段階での評価とした。



(1) 「達成度」及び「進捗度」の評価区分

「達成度」の評価区分は、「達成できている」「一部達成できている」「達成できていない」の 3 区分とした。

さらに、「達成できていない」については、取組の「進捗度」による評価を行い、その評価区分は「順調に進んでいる」「あまり進んでいない」「未着手」の 3 区分とした。

達成度	達成できている	：重点施策/政策の内容が達成できている
	一部達成できている	：重点施策/政策の内容が一部達成できている
	達成できていない	：重点施策/政策の内容が達成できていない
進捗度	順調に進んでいる	：達成に向けて取組が順調に進んでいる
	あまり進んでいない	：達成に向けて取組がなされているが想定通り進んでいない
	未着手	：検討に着手していない

(2) 評価対象期間

令和 4 年 8 月から令和 5 年 7 月末まで

Ⅱ 市長任期2年目の政策公約取組状況に関する評価

1. 総括評価

市長任期2年目の全44の重点施策について、関連する公約対応事業の令和5年7月末までの取組状況を基に個別に評価した結果、達成度については「達成できている」が17施策、「一部達成できている」が25施策、「達成できていない」が2施策であった。

また、「達成できていない」の2施策については、進捗度による評価の結果は、「順調に進んでいる」であった。

<44の重点施策の評価結果>

判例:()内の数字は1年目の評価結果

政策	施策数	評価結果						
		達成できている	一部達成できている	達成できていない	順調に進んでいる	あまり進んでいない	未着手	
政策1	7	6 (4)	1 (3)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
政策2	7	2 (0)	5 (6)	0 (1)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	
政策3	3	1 (0)	1 (2)	1 (1)	1 (0)	0 (1)	0 (0)	
政策4	4	1 (1)	3 (2)	0 (1)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	
政策5	5	3 (2)	2 (3)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
政策6	4	0 (0)	4 (3)	0 (1)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	
政策7	6	3 (1)	2 (4)	1 (1)	1 (0)	0 (1)	0 (0)	
政策8	4	1 (1)	3 (3)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
政策9	4	0 (0)	4 (2)	0 (2)	0 (1)	0 (1)	0 (0)	
合計	44	17 (9)	25 (28)	2 (7)	2 (3)	0 (4)	0 (0)	

これら重点施策の個別評価の結果を9つの政策毎に見ると、いずれの政策も半数以上が「達成できている」、もしくは「一部達成できている」となっていることから、政策1から政策9はいずれも「一部達成できている」と評価した。

当委員会としては、2年目の評価期間である令和4年8月から令和5年7月末までの大半がコロナ禍という厳しい状況下にも関わらず、1年目よりも「達成できている」と評価した重点施策の数がほぼ倍増していることに加え、1年目で既に達成した重点施策についても一層の事業推進が図られていること、更には「達成できていない」施策が大幅に減少したことに加え、進捗度による評価が、いずれも「順調に進んでいる」ことから、「市長任期2年目の政策公約は一部達成できており、各政策公約とも達成に向けて取組が着実に進められている。」と評価を統括した。

1 <9つの政策及び全体の評価結果>

政策名	評価結果
政策1 迅速かつ適切な新型コロナ対策	一部達成できている
政策2 八戸圏域の特性を活かした経済活性化	一部達成できている
政策3 持続可能なより良い社会の実現	一部達成できている
政策4 スポーツ&文化で地域と経済の活性化	一部達成できている
政策5 安心・安全な市民の暮らしを守る	一部達成できている
政策6 「子どもファースト事業」の展開	一部達成できている
政策7 多様な市民力を地域の活力に	一部達成できている
政策8 暮らしやすく人に優しいまちづくり	一部達成できている
政策9 経営感覚を持った行財政運営	一部達成できている

2 各政策の中でも、新型コロナウイルス感染症への対応は、1年目に引き続き最優先課題
 3 として取り組んでおり、度重なる感染拡大の波が訪れる難しい状況下において、コール
 4 センターの設置による保健所機能の強化や抗原検査キットの配布などの感染拡大防止策
 5 に加え、プレミアム商品券や商業団体等販売促進事業の追加実施等の需要喚起策を、迅
 6 速かつ重層的に対応されている。

7 また、今後発生が想定される大規模災害や新たな感染症の流行等の危機的状況におけ
 8 る司令塔機能の強化策として、新たに「危機管理部」を創設されたことは、前述の感染症
 9 への対応とともに、「市民の命と暮らし」を守ることに對する市長の強い信念が取組にそ
 10 のまま反映された形となっており、大いに評価できる点である。

11 その他の取組の中で特徴的なものとしては、対象事業数を1年目の5事業から2年目
 12 は21事業へと大幅に増加させた「子どもや子育て世代にやさしい子どもファースト事業」
 13 の取組がある。これは、市長公約の「子どもの未来は社会の未来」という政策公約の考え
 14 に基づき、子育て支援や教育の充実に対する想いが表れたものであることがうかがえる。

15 更に、市長が目指す「対話と共感」を象徴する取組として「市長との公民館サロン」で
 16 の市民との丁寧な対話の継続や、「まちの魅力創生ネットワーク会議運営事業」からの提
 17 言を基に多くの新規事業や事業の拡充に繋がられていることは、特筆すべき点と言える。

18 一方で、「一部達成できている」施策のうち、一部に現時点で検討段階の取組が見られ
 19 ることから、公約の実現に向けて早急に着手していただきたい。加えて、一部の取組事業
 20 において、事業内容及び公共施設のコンセプト並びに目的等が市民に十分に浸透してい
 21 ないと考えられる部分もあることから、「はちのへ大型公共施設見える化シート」を活用
 22 する等、市民の理解と共感を得るための取組を一層推進していただくとともに、事業を
 23 進める際は取り組む事業の対象者を明確にし、多様な意見にしっかりと耳を傾け、バラ
 24 ンスの取れた施策を展開していただきたい。

25 任期4年の折返しを迎える中、任期3年目は多くの面でコロナ禍前の日常に戻ることが
 26 が予想され、任期が終了する4年目での全政策公約実現に向けて取組を更に加速させて
 27 いただくことを期待する。

1

2. 44の重点施策の個別評価及び意見

2

政策1 迅速かつ適切な新型コロナ対策

3

1-1 医療提供体制の充実・強化		評価
医療提供体制の充実・強化に向けて、入院病床や宿泊療養施設の確保に努めると共に、クラスター発生時の保健所機能・PCR検査体制の強化、迅速なワクチン接種、わかりやすい情報提供に努めるなど、新型コロナ感染症対策に全力を尽くします。		達成できている
評価理由	県や医療機関と連携し、入院病床や宿泊療養施設が確保されているほか、「新型コロナウイルス感染症危機管理マニュアル」の策定による保健所への職員派遣体制の整備などの保健所機能の強化、医療機関との連携によるPCR等検査体制の強化、抗原検査キットの配布、ワクチンの追加接種や小児を対象とした接種のほか、記者会見や市公式 SNS・市HPを活用したわかりやすい情報提供などが実施されている。	
意見	—	
対応事業	<ul style="list-style-type: none"> ・入院病床・宿泊療養施設確保事業 ・保健所機能強化事業 ・PCR等検査体制強化事業 ・新型コロナウイルスワクチン接種事業 ・市民へのフォローアップ推進事業 	
1-2 自宅療養者・宿泊療養者への適切な対応と保健所の体制整備		評価
自宅療養者・宿泊療養者への健康観察等の適切な対応を図るとともに、潜在的保健師・看護師を登録する人材バンクの活用等により保健所の体制整備に努めます。		達成できている
評価理由	保健所からの電話連絡や食料支援等により、療養者への適切な対応が実施されているとともに、人材バンクを活用した専門職員の確保による保健所の体制整備が実施されている。	
意見	—	
対応事業	<ul style="list-style-type: none"> ・自宅療養者等対応強化事業 ・潜在保健師・看護師人材バンク活用事業 	

4

1-3 検査体制の強化		評価
必要に応じて、高齢者施設、繁華街の飲食店の一斉検査（スクリーニング検査）を行うほか、医療機関、高齢者施設、保育園等への抗原簡易キットを活用するなど、検査体制の強化を図ります。		達成できている
評価理由	飲食店、教育・保育関係施設、高齢者施設、障がい者施設等への検査キットの配布がされている。	
意見	—	
対応事業	・クラスター対策事業	
1-4 事業存続に向けた適切な支援と観光・飲食等の需要回復支援		評価
新型コロナ禍の影響が大きい観光関連事業者等に対して、事業存続に向けた適切な支援を行うほか、観光・飲食等の需要回復支援に取り組みます。		達成できている
評価理由	商業団体等による販売促進事業への助成やプレミアム食事券・プレミアム商品券・観光おもてなしクーポンの発行、飲食を伴うイベント等に対するマチニワ使用料の減免等により、事業存続に向けた支援や需要回復支援が実施されている。	
意見	—	
対応事業	<ul style="list-style-type: none"> ・八戸市商業団体等販売促進事業 ・八戸市プレミアム食事券事業 ・八戸市プレミアム商品券事業 ・八戸市観光おもてなしクーポン事業 ・マチニワイベント支援事業 	
1-5 高齢者フレイルなどの健康二次被害予防と対策の推進		評価
新型コロナ禍の長期化により懸念される、高齢者フレイル（心身の虚弱）などの健康二次被害の予防と対策に取り組みます。		達成できている
評価理由	介護予防センターにおける相談支援や介護予防教室等の開催、高齢者等に対するバス特別乗車証無償交付により、高齢者フレイル（心身の虚弱）などの健康二次被害の予防と対策が実施されている。	
意見	—	
対応事業	<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防センター運営事業 ・高齢者等バス特別乗車証無償化事業 	

1-6 市民生活へのフォロー体制の構築		評価
感染症との共存（ウイズコロナ）時代において、市民が安心して日常生活や経済・文化・スポーツ・教育等の活動を行えるよう、市独自のガイドラインを制定し、フォロー体制を構築します。		一部達成できている
評価理由	記者会見や市公式 SNS・市 HP を活用した情報発信により、市民へのフォロー体制が構築されている。一方、市独自のガイドラインは制定されていない。	
意見	次の感染症危機に備え、流行時における市及び市民の対応を示した計画を作成する必要がある。	
対応事業	・市民へのフォローアップ推進事業（再掲）	
1-7 新たな「感染危機管理マニュアル」の策定		評価
新型コロナへの対応について様々な角度から検証し、新たな「感染危機管理マニュアル」を策定します。		達成できている
評価理由	令和3年12月に「新型コロナウイルス感染症危機管理マニュアル」が策定されている。	
意見	—	
対応事業	・保健所機能強化事業（再掲）	

政策2 八戸圏域の特性を活かした経済活性化

1

2-1 「八戸市経済再生ビジョン」の策定		評価
ウイズコロナ・アフターコロナ時代に向けた「八戸市経済再生ビジョン」を策定し、地域経済の再生・回復を図ります。		達成できている
評価理由	令和5年3月に経済再生のためのビジョンとして「中小企業・小規模企業振興ビジョン」が策定された。令和5年4月から同ビジョンを実現するため、中小企業・小規模企業の振興に資する事業の取組が進められている。	
意見	-	
対応事業	・八戸市経済再生ビジョン策定事業	
2-2 「八戸水産アカデミー」の設置と「つくり育てる漁業」の推進		評価
水産業の未来を考える「(仮称)八戸水産アカデミー」を設置します。また、養殖事業等の「つくり育てる漁業」の推進に向けた研究会を立ち上げ、多様な水産資源の確保に努めます。		一部達成できている
評価理由	「八戸水産アカデミー」を設置し、セミナーが実施されている。一方、「つくり育てる漁業」の推進に向けては、専門部会を設置し、視察を行うなど、養殖業の実現可能性について調査研究が進められている。	
意見	-	
対応事業	・水産業振興事業	
2-3 「食のまち・八戸」をテーマとした観光振興		評価
「食のまち・八戸」をテーマとした観光振興により、八戸圏域の農業・畜産・水産資源を有効活用することで、交流人口や関係人口の増加による圏域全体の経済の活性化を図ります。		一部達成できている
評価理由	八戸都市圏交流プラザ「8base」の運営や「VISIT はちのへ」への活動支援、地場産品を活用したイベント等への補助により、圏域の資源を有効活用した交流人口・関係人口増加の取組が実施されている。また、令和4年12月の八戸市魚菜小売市場のリニューアルオープン後、陸奥湊駅内に民間事業者による店舗が参入するといった波及効果が見られている。現在、VISIT はちのへに対する「食のまち・八戸」関連事業を拡充し、更なる取組みを進めているところである。	
意見	-	
対応事業	<ul style="list-style-type: none"> ・グリーン・ツーリズム推進事業 ・VISIT はちのへ活動支援事業 ・八戸都市圏交流プラザ運営事業 ・湊地区まちづくり事業 ・物産販売促進事業 ・農産物等販売促進事業 	

2

2-4 成長産業の集積に向けた企業誘致や事業育成		評価
デジタル関連産業や医療・介護・健康等の「ヘルスケア産業」など、成長産業の集積に向けた企業誘致や事業育成に取り組みます。		一部達成できている
評価理由	トップセールスの実施や日ごろからの企業訪問の取組の結果、年間複数社の企業を誘致できており、令和4年度には金属粉末を製造する成長産業分野の企業を1社誘致できたところである。同社については今後、北インター工業団地に工場建設が予定されている。	
意見	—	
対応事業	<ul style="list-style-type: none"> ・IT産業集積促進事業 ・イノベティブ産業集積促進事業 ・企業立地促進条例に基づく奨励金交付事業 ・企業誘致促進事業 ・中小企業特別保証制度保証料補助事業 	
2-5 産業インフラの充実と企業誘致		評価
経済のグローバル化に向けた北東北の物流拠点としての基盤の整備等、産業インフラをさらに充実させ企業誘致に努めます。		一部達成できている
評価理由	八戸港の利用促進に向けたポートセールス活動や奨励金の交付による企業誘致が実施されている。一方、新産業団地や都市計画道路、港湾などのインフラ整備は進行中である。	
意見	—	
対応事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ポートセールス事業 ・新産業団地整備・開発推進事業 ・企業立地促進条例に基づく奨励金交付事業（再掲） ・企業誘致促進事業（再掲） ・港湾整備促進事業 ・都市計画道路3・3・8号白銀市川環状線整備促進事業 ・三陸沿岸道路利活用促進事業 	
2-6 中小企業・小規模企業の振興条例の制定		評価
地域の雇用と経済を支える中小企業・小規模企業の振興条例を制定し、効果的な運用により地域経済の活性化を図ります。		達成できている
評価理由	「中小企業・小規模企業振興基本条例」が施行され、市民に向けた周知が行われている。また、同条例に基づき、令和4年9月に設置した中小企業・小規模企業振興会議から、同条例に基づき実施される事務事業の取組状況に関する意見を聴取し、その結果を本年度事業に反映して、取組が進められている。	
意見	—	
対応事業	<ul style="list-style-type: none"> ・中小企業及び小規模企業振興基本条例推進事業 	

1

2-7 起業支援プラットフォームの構築と起業支援体制の拡充		評価
次代の経済活性化に向けて起業家を支援するプラットフォームを構築し、起業家同士の交流や起業を志す若者や女性に対する起業支援体制を拡充することで、「創業拠点都市・八戸」を目指します。		一部達成できている
評価理由	はちのへ創業・事業承継サポートセンターの運営による起業家への支援が実施されている。一方、起業を志す若者や女性に対する起業支援体制の更なる拡充は未実施である（今秋、構築予定）。	
意見	—	
対応事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ はちのへ創業・事業承継サポートセンター運営事業 ・ 新規会社設立補助事業 	

2

3

政策3 持続可能なより良い社会の実現

1

3-1 SDGs(持続可能な開発目標) に対する市民の理解と取組の推進		評価
SDGs(持続可能な開発目標) に対する市民の理解と取組を推進するために、教育機関・企業・関係団体等への情報発信や啓発活動を行います。		一部達成できている
評価理由	市民向け及び中学校等にSDGsの普及や啓発に向けた講座の開催や情報発信が実施されている。一方、企業への情報発信については未実施である。	
意見	公約の実現に向け、対応事業を増やす必要がある。	
対応事業	・SDGs情報発信・啓発事業	
3-2 グリーン・循環型社会の実現		評価
再生可能エネルギーの導入など、脱炭素化への取り組みを通じて、経済・社会・環境のバランスの取れた、グリーン・循環型社会の実現を目指します。		達成できていない (順調に進んでいる)
評価理由	脱炭素化への取組に係る庁内検討会を立ち上げ、各団体との意見交換や環境出前講座を実施する等、意識啓発活動に関する取組が実施されている。また、グリーン・循環型社会の実現等に向けて、第3次八戸市環境基本計画及び第2次八戸市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)の策定を進めており、令和5年6月にパブリックコメントが実施されたところである。	
意見	公約の実現に向け、対応事業を増やす必要がある。	
対応事業	・脱炭素化推進事業 ・地球温暖化対策理解促進事業	
3-3 デジタル推進室の設置		評価
行政・市民生活のデジタル化を加速させ、効率的かつ安全・安心な行政サービスを提供するために、民間人材の登用も視野にデジタル推進室を設置します。		達成できている
評価理由	令和4年4月に「デジタル推進室」を新たに設置した後、八戸市デジタル推進計画を策定したほか、デジタル化に関する職員向け研修会、市庁舎のフリーwi-fiエリアの拡大や公共施設窓口におけるキャッシュレス決済の導入への取組がなされている。今後は八戸市統合スマートフォンアプリの開発が予定されているなど、設置後も継続した取組が進められている。	
意見	-	
対応事業	・行政のデジタル化体制強化事業	

2

政策4 スポーツ&文化で地域と経済の活性化

1

4-1 「スポーツによる人・健康・まちづくり推進協議会」の設置		評価
スポーツを通じた人材の育成、健康寿命の延伸、スポーツ産業の振興による地域の活性化に向けて、「(仮称) スポーツによる人・健康・まちづくり推進協議会」を立ち上げます。		達成できている
評価理由	市の附属機関として「八戸市スポーツによる人・健康・まちづくり推進協議会」を設置し、スポーツ推進計画の外部評価が実施されている。また、スポーツの実施状況に関するアンケート調査を実施し、市のスポーツ関連施策の進行を管理するなど、設置後も継続した取組が続けられている。	
意見	-	
対応事業	・ 八戸市スポーツによる人・健康・まちづくり推進事業	
4-2 八戸市体育館建て替え構想における多目的利用可能な施設の検討		評価
八戸市体育館の建て替え構想に際し、従来のスポーツ競技や観戦のほか、避難所・各種コンベンションの開催など多目的利用が可能な施設を検討します。		一部達成できている
評価理由	令和4年11月に八戸市体育館の建て替えに関する基本構想が策定されている。また、避難施設等の防災機能については、今年度八戸市体育館の建て替えに関する基本計画の策定の中で、引き続き検討されることが予定されている。	
意見	-	
対応事業	・ 新体育館整備事業	
4-3 イベントや会議の誘致と八戸市の魅力発信		評価
「北東北のコンベンションシティ八戸」を掲げ、イベントや会議などの誘致を積極的に進めると共に、八戸市の魅力を発信し経済波及効果を創出します。		一部達成できている
評価理由	「VISIT はちのへ」によるイベント誘致の助成や首都圏におけるMICE誘致商談会などに参加し、誘致を図っている。また、デジタルを活用したマーケティングやインターネット、SNSを活用した効果的な魅力発信が図られている。一方、コロナ禍の影響により、観光客について、十分な回復には至っていない。	
意見	-	
対応事業	・ VISIT はちのへ活動支援事業（再掲）	

2

4-4 市民のコミュニティ豊かな魅力ある街づくり	評価
<p>中心市街地において、商業機能や公共施設と文化事業（美術・文学・演劇・音楽）との連携によるエリアマネジメントに取り組み、市民のコミュニティ豊かな魅力ある街づくりを目指します。</p>	<p>一部達成できている</p>
<p>評価理由</p>	<p>中心市街地における商業機能や公共施設と文化事業との連携による取組が実施されている。一方、居心地が良く歩きたくなるストリートへの転換を目指す、中心市街地ストリートデザインの取組は進行中である。</p>
<p>意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・更上閣ガーデンレストランライアル事業について、日程を定着させるとともに、美術館などの公共施設も活用し、回遊性の向上を図る必要がある。 ・美術館らしい使い方をする必要がある。 ・新しい形の美術館であるならば、より一層コンセプトの周知を行う必要があるほか、企画も独自色を出す必要がある。 ・中心街のまちづくりについて、より一層コンセプトの周知を行う必要がある。
<p>対応事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・文化事業と商業機能との連携事業 ・中心街ストリートデザイン事業

政策5 安心・安全な市民の暮らしを守る

1

5-1 デジタルシステムを活用した「地域共生社会」の実現		評価
超高齢社会に向けて、医療・介護・予防等の生活支援を総合的に推進するために、デジタルシステムを活用した「地域共生社会」の実現を目指します。		一部達成できている
評価理由	ICT ツールを活用するとともに、同ツールの更なる活用促進に向けて、利用者数を増やすための研修会・事例検討会が実施されるなど、「地域共生社会」の実現に向けた取組が進められている。	
意見	—	
対応事業	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅医療介護 ICT 連携推進事業 ・包括的・継続的ケアマネジメント支援事業 	
5-2 介護人材の確保		評価
介護人材を確保するため、資格取得支援、人材育成、町内会単位での支援体制の整備、市独自のヘルパー制度（軽度者に対するサービス提供）の創設などに取り組みます。		一部達成できている
評価理由	中高生への出前講座の開催等による人材確保・育成や、町内見守りネットワークによる町内会単位での支援体制の整備が継続して実施されている。一方、介護資格取得支援や市独自のヘルパー制度の創設が未実施である。	
意見	—	
対応事業	<ul style="list-style-type: none"> ・介護の仕事理解促進事業 ・地域包括支援センター運営事業 ・介護予防・日常生活支援総合事業 ・介護の業務の革新・業務効率化事業 	
5-3 在宅医療の仕組みづくりと終末期医療体制の整備		評価
医療・介護の連携をより一層推進させ、住み慣れた地域で安心して在宅医療を受けることができる仕組みづくりを目指すと共に、終末期医療体制の整備に取り組みます。		達成できている
評価理由	医療・介護の連携をより一層推進させ、住み慣れた地域で安心して在宅医療を受けることができる仕組みづくりを構築するための取組の一環として、ICT ツールが活用されている。また、終末期医療体制の整備として、看取りケアに関する研修会の開催や総合的ながん対策事業の取組が実施されている。	
意見	全身を一度に癌検査することができるPET検査に対応できる環境をつくる必要がある。	
対応事業	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅医療介護 ICT 連携推進事業（再掲） ・包括的・継続的ケアマネジメント支援事業（再掲） ・地域包括支援センター運営事業（再掲） ・高齢者福祉に関する理解促進事業 ・総合的ながん対策事業 	

2

5-4 障がい者就労の理解促進と就業支援に係る相談機能の充実		評価
障がい者の就業定着と就業機会の選択が広がるよう、事業者の理解促進に努めると共に就業支援の相談機能の充実を図ります。		達成できている
評価理由	障がい者の就業定着等に向けた、事業者や市民を対象とした研修会の開催や、障がい児の保護者への就業相談支援が継続して実施されている。	
意見	—	
対応事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 障がい者就労支援団体ネットワーク事業 ・ 障がい者就労サポーター養成事業 ・ 障がい者就業支援事業 	
5-5 防災・危機管理部門の強化		評価
多発する異常気象や、将来発生が予想される巨大地震とそれに伴う津波など、大規模災害から市民の生命と財産を守るため、防災・危機管理部門を強化します。		達成できている
評価理由	昨年度の1グループ制から2グループ制とした体制強化に続き、今年度は危機管理部を創設し、さらに体制が強化された。防災・危機管理の司令塔機能が強化されており、津波避難ハザードマップの改定、津波避難計画の改定などが実施されている。	
意見	—	
対応事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 防災・危機管理体制強化事業 	

政策6 「子どもファースト事業」の展開

1

6-1 子どもや子育て世代にやさしい子どもファースト事業の推進		評価
子ども医療費助成の対象拡充、子育て支援の充実、学校施設の老朽化対策など、子どもや子育て世代にやさしい子どもファーストの事業に取り組みます。		一部達成できている
評価理由	子ども医療費助成の所得制限の緩和、乳児期の健診費用の拡充など、子育て世帯への経済的な支援や妊娠期から子育て期の切れ目のない寄り添い支援といった多彩で豊富な子育て支援を総合的に支援する事業に取り組まれている。また、こどもの国の大型複合遊具についても一部供用が開始されたところである。現在、市内小・中学校に対する冷房設備設置事業を進めているほか、学校施設の老朽化対策（修繕・営繕工事）を計画的に進めている。	
意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広報はちのへについて、市民参加型の広報誌にする必要がある。 ・ 児童科学館について、施設、展示品、プラネタリウムをリニューアルする必要がある。 ・ 子どもが職業体験できる事業に取り組む必要がある。 	
対応事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子ども医療費助成事業 ・ 病児保育ネット予約サービスの導入（病児・病後児保育事業） ・ 市政情報発信力の強化事業 ・ 健康教育事業（母子） ・ 母子健康診査事業 ・ 子ども家庭総合支援拠点事業 ・ 八戸市次世代エール商品券発行事業 ・ 軽・中程度障がい児保育事業 ・ 医療的ケア児等総合支援事業 ・ 医療的ケア児保育支援事業 ・ 広域的体験学習支援事業 ・ 地域密着型教育推進事業 ・ 文化芸術推進事業 ・ 小・中学校スポーツ・文化的活動支援事業 ・ 学校図書館支援事業 ・ 児童科学館改修事業 ・ 放課後児童健全育成事業 ・ 送迎用車両安全装置導入支援事業 ・ 小・中学校整備事業 ・ 保育施設等整備事業 ・ こどもの国大型複合遊具設置事業 	

2

6-2 幼児保育の人材確保と研修体制及び小学校との接続カリキュラムの構築		評価
幼児保育の重要性の認識や職場環境の改善を図り、人材の確保に努めると共に、幼児教育の質の向上に向けた研修体制や小学校との円滑な接続を図るカリキュラムを構築します。		一部達成できている
評価理由	保育士資格取得支援等による保育人材の確保や幼児教育の質の向上のための教職員研修が実施されている。一方、小学校との円滑な接続を図るカリキュラムの構築は未実施である。	
意見	-	
対応事業	<ul style="list-style-type: none"> ・保育士資格等取得支援事業 ・保育士修学資金貸付金事業 ・幼保小連携推進事業 ・特別支援教育推進事業 ・教職員研修事業 	
6-3 未来の八戸を担う子どもたちの学びを支える		評価
学校のプログラミング教育や国際交流事業のさらなる充実を図り、未来の八戸を担う子どもたちの学びを支えます。		一部達成できている
評価理由	プログラミング教育等を充実させるため指導・助言が実施されており、教育現場において、その効果が確認されている。また、新型コロナウイルスの影響により、国際交流については制約がある中、米国児童とのオンライン交流による国際交流の充実が図られている。	
意見	<ul style="list-style-type: none"> ・G I G Aスクール構想に対応した人材の確保・育成に関する取組をする必要がある。 ・G I G Aスクール構想推進事業について、計画的にP C等のメンテナンスに対応する必要がある。 	
対応事業	<ul style="list-style-type: none"> ・G I G Aスクール構想推進事業 ・青少年海外派遣交流事業 ・国際理解教育・英語教育推進事業 	
6-4 子ども食堂の支援		評価
食品関連事業者や関係団体などとの連携の下に、子ども食堂の支援に努めます。		一部達成できている
評価理由	子育て家庭に食材等を配布する「八戸こども宅食おすそわけ便」の広報、食材提供者と子ども食堂実施団体とのマッチング、子ども食堂及び八戸こども宅食おすそわけ便の実施団体への後援、物価高騰対策特別支援金給付などの支援に加え、子ども食堂の関係団体を対象にアンケート調査が実施されている。今後は現在実施中のアンケート結果を踏まえ、実施団体のニーズに合った支援等が検討される予定である。	
意見	-	
対応事業	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども食堂支援事業 	

政策7 多様な市民力を地域の活力に

1

7-1 若者・女性の移住促進		評価
<p>高校・大学卒業を機に転出した若者・女性に向けた「ふるさとメール便」・「ふるさと情報アプリ」の導入やリモートワーカー等の積極的な受け入れにより、若者・女性の移住促進に取り組めます。</p>		一部達成できている
評価理由	<p>高校、大学の卒業生に対する SNS 登録の促進や発信内容の充実、リモートワーカー等の受け入れに関する WEB 広告や PR 動画の作成のほか、相談会やフェアへの出展により移住・交流促進への取組が実施されている。また、若者の利用率が高い SNS による情報発信のほか、パンフレットやグッズ制作・配布等により、若者・女性の移住促進の取組が実施されている。</p>	
意見	<p>移住やUターンの相談者が増えているため、取組を継続する必要がある。</p>	
対応事業	<ul style="list-style-type: none"> ・移住・交流促進事業 ・シティプロモーション推進事業 	
7-2 大学生や高校生の地元定着の促進		評価
<p>産業界と教育界の連携を図り教員、生徒、保護者を対象とした地域における産業教育の充実により、大学生や高校生の地元定着を図ります。</p>		一部達成できている
評価理由	<p>生徒、保護者向けに地元企業への理解を高め学ぶための取組がされているほか、産学官の連携により、八戸地域学講座が実施されている。また、高校生による地元企業の魅力を発見する取組がスタートしたところであり、事業所の認知度や採用力の向上を図るための取組が実施されている。</p>	
意見	<ul style="list-style-type: none"> ・地元定着の促進について、大学等に対してもパンフレットを配布する等、幅広い情報提供が必要である。 ・高校生による地元企業魅力発見体験事業について、より参加者を増やす取組が必要である。 	
対応事業	<ul style="list-style-type: none"> ・八戸産学官連携推進事業 ・地元企業ファンづくりプロジェクト事業 ・高校生による地元企業魅力発見体験事業 ・地域事業所人材獲得等支援事業 	
7-3 「まちの魅力創生ネットワーク会議」の設置		評価
<p>若者・女性にとって魅力ある街づくりをビジョンに掲げ「(仮称) まちの魅力創生ネットワーク会議」を立ち上げます。</p>		達成できている
評価理由	<p>市の附属機関として同会議を設置し、令和5年度は同会議からの提言を踏まえた具体的な事業化がされている。また、令和5年度も提言作成に向けて、継続して会議が開催されている。</p>	
意見	<p>子どものうちから八戸市に対する郷土愛や理解が深まる取組をする必要がある。</p>	
対応事業	<ul style="list-style-type: none"> ・八戸市まちの魅力創生ネットワーク会議運営事業 	

2

7-4 「(仮称) キャリア教育講座」の設置		評価
社会人を対象に、資格、技術、技能、専門知識の習得など、地域や企業に役立つ人材を育てるための学びの場として「(仮称) キャリア教育講座」を設置します。		達成できていない (順調に進んでいる)
評価理由	ニーズ調査は実施されたものの、7月末現在、社会人を対象にした地域や企業に役立つ人材を育てるための学びの場としての講座は実施されていない。「キャリアアップセミナー」として、今年9月に実施が予定されている。	
意見	—	
対応事業	・キャリア教育推進事業	
7-5 シニア世代のキャリアを活かした中小企業への支援		評価
シニア世代の資格や技術・技能・専門知識などのキャリアを活かし、中小企業の人材不足と経営再生を支援するため、人材(スキル)を登録し、マッチングを支援する仕組みづくりに取り組みます。		達成できている
評価理由	八戸市無料職業紹介所等の運営により、シニア世代を含む求職者と求人企業とのマッチング支援の仕組みが構築されており、資格などのキャリアを持つシニア世代の人材(スキル)の登録を行っている。また、シニア世代からの相談時には、外部団体であるシルバー人材センターやネクストキャリアセンターあおもり(45歳以上の就職支援)を併せて紹介するなど、シニア世代の就業を幅広く支援している。	
意見	—	
対応事業	・無料職業紹介事業 ・求人・求職情報無料ウェブサイト運営事業	
7-6 高齢者の生きがいづくり活動への支援と社会参加の促進		評価
地域の協力を得ながら、高齢者サロン・老人クラブ等の高齢者の生きがいづくり活動を支援すると共に、高齢者の社会参加の促進を図ります。		達成できている
評価理由	ほっとサロンの開催及び老人クラブへの補助金交付等による生きがいづくり活動の支援や、鷗盟大学の運営及びシニアはつらつポイント事業による高齢者の社会参加の促進に関する取組が継続して図られている。	
意見	—	
対応事業	・老人クラブ活動支援事業 ・高齢者生きがいと健康づくり推進事業 ・鷗盟大学運営事業 ・シニアはつらつポイント事業	

政策8 暮らしやすく人に優しいまちづくり

1

8-1 「コンパクト&ネットワーク」の街づくりと協働のまちづくりの推進		評価
地域の活力を維持するために「コンパクト&ネットワーク」の街づくりを推進すると共に、地域らしさを創出するための協働のまちづくりを推進します。		一部達成できている
評価理由	「地域の底力」実践プロジェクトや「元気な八戸づくり」市民提案制度事業等の実施により協働のまちづくりが推進されている。一方、コンパクト&ネットワークの街づくりに関しては、圏域の公共交通のマスタープランとなる「八戸圏域地域公共交通計画」は令和5年3月に策定されたが、「八戸市立地適正化計画」を改訂中である。また、売市第三地区土地区画整理の代替整備計画は策定に向けた検討段階である。	
意見	—	
対応事業	<ul style="list-style-type: none"> ・「地域の底力」実践プロジェクト促進事業 ・協働のまちづくり研修会の開催事業 ・協働のまちづくり職員研修事業 ・「元気な八戸づくり」市民提案制度事業 ・「元気な八戸づくり」市民奨励金事業 ・八戸市立地適正化計画改定事業 ・売市第三地区土地区画整理事業(代替整備計画) 	
8-2 人に優しい街づくりの推進		評価
市民にとって身近な公園や歩道の整備、公共施設等の保守・修繕・バリアフリー化を進め、人にやさしい街づくりを推進します。		一部達成できている
評価理由	公園や歩道の整備、公共施設等の保守・修繕・バリアフリー化は一部実施済みである。一方、無電柱化の工事や歩道整備、公園施設の修繕など多くの工事が進行中である。	
意見	<ul style="list-style-type: none"> ・無電柱化推進事業について、着実に進める必要がある。 ・公道で子どもが安全に自転車に乗ることができる環境を作る必要がある。 ・学生が自転車に乗りやすいまちづくりをする必要がある。 	
対応事業	<ul style="list-style-type: none"> ・無電柱化推進事業 ・新井田白銀線歩道整備事業 ・一番町矢沢線歩道整備事業 ・交通安全施設整備事業 ・通学路等区画線設置事業 ・公園施設長寿命化事業 ・市民で賑わう公園魅力向上事業 ・公共施設有効利用促進推進事業 ・公共施設長寿命化推進事業 	

2

8-3 空き家の適正管理と利活用の促進		評価
空き家の適正管理を進めるほか、空き家のリフォームやリノベーションによる転用などの利活用を促進します。		達成できている
評価理由	空き家の管理に関する相談対応や広報はちのへへの啓発記事の掲載により、適正管理に係る取組が継続して実施されているとともに、空き家ポータルサイトの運営及びリフォームやリノベーションを対象とした補助金による利活用促進が図られている。	
意見	—	
対応事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 空き家等管理対策事業 ・ 空き家活用・住みかえ支援事業 	
8-4 「市長との公民館サロン」の開設		評価
市民と共に創る「市民目線のまちづくり」を目指して、「(仮称)市長との公民館サロン」を開設し、開かれた市政を実現します。		一部達成できている
評価理由	今年7月末までにサロンを各地域で計19回開催されている。一方、全地域での開催には至っておらず、今年度で市内地区公民館の所管区域を一巡する予定である。	
意見	公民館サロンについて、当初予定していた全地域での開催が終了した後の開催方法について、1回目の検証結果や地域のニーズを踏まえて内容を検討する必要がある。	
対応事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市長との公民館サロン開催事業 	

政策9 経営感覚を持った行財政運営

1

9-1 大型公共施設の有効利用による費用対効果の向上		評価
持続可能な財政運営に向け、大型公共施設の維持管理コストと財源の見通しを公開し、併せて施設の有効利用を図ることにより費用対効果を高めます。		一部達成できている
評価理由	はちのへ大型公共施設見える化シートの公開により、維持管理コストと財源の見通しが公開された。現在は、公共施設の有効利用に向けた具体的取組を検討するため、市民アンケートの実施や各施設の進捗管理がされている。	
意見	—	
対応事業	・ 公共施設有効利用促進事業（再掲）	
9-2 行政改革と市民サービスの質の向上		評価
市長と市職員との活発な意見交換を通じ、行政組織をより活性化させ行政改革と市民サービスの質の向上につなげます。		一部達成できている
評価理由	新採用職員前期研修及び主査級職員研修において、市長と職員の意見交換が実施されている。また、他の階層別研修や新たな枠組みでの意見交換の実施について、現在検討中である。	
意見	—	
対応事業	・ 行政組織活性化事業	
9-3 民間企業との交流推進		評価
民間企業との交流をより推進し、経営感覚やスキルを取得することによって、八戸市のまちづくり経営の事業や施策に反映させます。		一部達成できている
評価理由	株式会社まちづくり八戸に市職員を派遣している。まちづくり分野において、日ごろからの民間企業との連携交流について具体的な取組は検討段階である。	
意見	八戸市以外の企業との民間交流をする必要がある。	
対応事業	・ 民間企業との交流事業	

2

9-4 市民向けアプリ開発による市民満足度の向上と意見聴取による 市政の改善	評価
健康増進、子育て支援などの機能を備えた市民向けアプリを開発し、市民満足度の向上を図ります。 また、アプリに市民の意識や満足度を把握できる機能も備えることで市政の改善に活かします。	一部達成できている
評価理由	健康増進アプリ「健はちプラス」、子育て支援アプリ「はちも」が導入された。一方、アプリを活用した意識調査や満足度調査は実施されていない。
意見	健はちプラス、はちもについて、より一層市民に活用してもらうための周知をする必要がある。
対応事業	<ul style="list-style-type: none"> ・健康はちのへ 21 ポイントアプリ事業 ・子育て情報整備事業

1

Ⅲ 参 考

1. 八戸市総合計画等推進市民委員会 委員名簿

(五十音順、敬称略)

1

役 職	氏 名	所属等
	倉 田 任 康	八戸ホテル協議会 会長
	柴 田 紀 志	八戸金融団 副会長
	高 森 えりか	公募
	立 花 悟	NPO 法人青森県防災士会 副代表理事 八戸支部長
委 員 長	堤 静 子	八戸学院大学 地域経営学部 教授
	鶴 直 人	八戸 IT・テレマーケティング未来創造協議会 幹事長
	田 頭 順 子	八戸国際交流協会理事 (轟木保育園園長)
	中 村 一 明	連合青森三八地域協議会 議長
	峯 敬 子	八戸商工会議所 女性会 理事
副 委 員 長	宮 腰 直 幸	八戸工業大学 感性デザイン学部 教授

2

1

2. 審議経過

2

委員会	開催日	審議案件
第1回	令和5年5月24日(水)	・令和5年度の審議方法の確認
第2回	令和5年6月8日(木)	・第7次八戸市総合計画の実施状況に関する審議①
第3回	令和5年6月29日(木)	・第7次八戸市総合計画の実施状況に関する審議②
第4回	令和5年7月21日(金)	・第7次八戸市総合計画の実施状況に関する審議③
第5回	令和5年8月22日(火)	・政策公約の取組状況の審議①
第6回	令和5年9月1日(金)	・政策公約の取組状況の審議②
第7回	令和5年9月19日(火)	・総合計画意見書及び政策公約評価書のとりまとめ
第8回	令和5年10月23日(月)	・第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略の効果検証①
第9回	令和5年11月7日(火)	・第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略の効果検証②
第10回	令和5年11月28日(火)	・地方創生推進交付金の効果検証

3

